

社会保険診療支払基金の医薬品の適応外使用に係わる訂正について(2009.10)

社会保険診療報酬支払基金では、2009年9月15日に第6次審査情報提供として、33事例を新たに追加されました。すなわち、現在適応症が認められていなくて、保険の査定の対象となっている薬の中で、正式な適応症はなくても保険審査時に認められる可能性がある薬として、新たに33品目が追加されたこととなります。そのなかに、小児神経疾患に関連の深い品目として、ジアゼパムがてんかんに、ミダゾラムがてんかん重積状態に、メチルプレドニンが脳炎・脳症などに認められました。その他にも小児関連の薬がいくつか含まれています。詳細は (<http://www.ssk.or.jp>) のプレスリリース 2009/9/16 No017「第6次審査情報提供事例として薬剤関係33事例を追加より」をご覧ください。

日本小児神経学会薬事委員会委員長
大塚頌子